I 日本語・日本事情教育：
日本語教育プログラム(年次報告(平成28年度後期・29年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 原沢, 伊都夫, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024872

日本語教育プログラム

原沢伊都夫／袴田 麻里

1. コースの概要

日本語教育プログラムは静岡大学で勉強する全ての留学生のための15週間の日本語コースである。学習内容には、日常コミュニケーションのほか、研究活動に必要な口頭発表やレポート執筆の技能なども含まれている。日本語を初めて勉強する人の入門科目（日本語1A、静岡・浜松）、初級科目（日本語2A、静岡・浜松）、中級前半科目（日本語3ABC、静岡・浜松）、中級後半科目（日本語4ABC、静岡）、および上級科目（日本語5AB、静岡）の5つのレベルがあり、プレイスメント・テストの結果によってレベルを決定する。

受講生の定員に空きがある場合には、静岡大学の研究者・留学生の配偶者などで、プレイスメント・テストの結果から、当プログラムの留学生と日本語力が同等であると判断され、センター長が適当と認めた者は、所定の授業料を納付してこのプログラムを受講することができる。ただし、成績評価及び単位の認定はしない。

2. 静岡キャンパス

原沢伊都夫

平成28年度後期

開講期間は平成28年10月11日(火)から平成29年2月13日(月)までである。入門、初級、中級前半、中級後半、上級の5レベルを設置した。

【日本語1A－F（日本語入門）】

授業時間数：週3コマ

学習内容：初級文型の学習と総合的なコミュニケーション練習。

使用テキスト：『にほんご45じかん』、国際交流センター開発教材『平仮名』・『片仮名』

受講者数：16名

【日本語2A－F（日本語初歩）】

授業時間数：週3コマ

学習内容：文章を読み、文法練習をする。会話、聴解、作文の練習をする。

使用テキスト：『英語版日本語中級J301』（スリーエーネットワーク）『大学・大学院留学生の日本語①』（アルク）

受講者数：8名

【日本語3A－F（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：さまざまな文章を読む。文法・語彙練習をする。漢字・文法クイズを行う。

使用テキスト：『豊富な例文で学ぶ 新中級日本語』（ふくろう出版）

受講者数：13名

【日本語3B－F（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：学習生活・日常生活での会話、講義等の独話を聞く力を養うと同時に、文脈の中での使われ方を通して語彙を学んでいく。

使用テキスト：授業時に紹介する。

受講者数：14名

【日本語3C－F（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：作文に必要な表現を学ぶ。その表現を使って、自分に関係する日常生活の事柄を書く。次に、作文で書いた内容を口頭で表現する。これらの活動を通して、しっかりとした日本語のコミュニケーション能力を身につける。

使用テキスト：『どんなときにどう使う日本語の表現文型200』初中級、アルク

受講者数：12名

【日本語4A－F（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：さまざまな文章を読み、このレベルで習得されるべき語彙・文法とともに、一般常識や日本事情も学習する。

使用テキスト：授業時に適宜紹介する。

受講者数：25名

【日本語4B－F（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：テレビドラマ「ラッキーセブン」を鑑賞しながら、日常生活の話し言葉に慣れるとともに、様々なテーマについての知識を深める。また、ドラマにおける語彙を身に付ける。

使用テキスト：プリント教材を配布する

受講者数：27名

【日本語4C－F（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：目上の人に宛てた丁寧なEメールや手紙の書き方を学ぶ。スピーチを通して作文を書く。

使用テキスト：『日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現』スリーエーネットワーク

受講者数：20名

【日本語5A－F（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学 習 内 容：大学の学部レベルの授業のための読解力を身につける。また、自分の考えを聞き手の立場に立って発表できる力を養成し、ディスカッションの場面では適切に意見交換できるスキルを学ぶ。

使用テキスト：新聞、雑誌、インターネット記事など

受 講 者 数：18名

【日本語5B－F（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学 習 内 容：大学の学部レベルの授業のためのレポートを書くためのスキルを学ぶ。

使用テキスト：『大学・大学院 留学生の日本語④論文作成編』アカデミックジャパニーズ研究会

受 講 者 数：8名

	月	火	水	木	金
1・2 8:40-10:10	日本語1A-F 日本語初歩	日本語1A-F 日本語初歩	日本語1A-F 日本語初歩	日本語1A-F 日本語初歩	
3・4 10:20-11:50	日本語5A-F 日本語総合	日本語3A-F 読解・文法	日本語2A-F 日本語基礎 日本語4A-F 読解・文法	日本語2A-F 日本語基礎	日本語2A-F 日本語基礎
5・6 12:45-14:15		日本語5B-F 日本語総合	日本語3B-F 聴解・語彙	日本語3C-F 作文・話し方	日本語4C-F 作文・話し方
7・8 14:25-15:55	日本語4B-F 聴解・語彙				

平成29年度前期

開講期間は平成29年4月10日(月)から平成29年8月4日(金)までである。入門、初級、中級前半、中級後半、上級の5レベルを設置した。

【日本語1A－S（日本語入門）】

授業時間数：週4コマ

学 習 内 容：初級文型の学習と総合的なコミュニケーション練習。

使用テキスト：専門教育出版『にほんご45じかん』、留学生センター開発教材『平仮名』・『片仮名』

受 講 者 数：3名

【日本語2A－S（日本語初歩）】

授業時間数：週3コマ

学習内容：文章を読み、文法練習をする。会話、聴解、作文の練習をする。

使用テキスト：『にほんご つぎの45じかん』専門教育出版

受講者数：3名

【日本語3A－S（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：さまざまな話題の文章を読む。文法・語彙練習をする。漢字・文法クイズを行う。

使用テキスト：『中級へ行こう 日本語の文型と表現59』スリーエーネットワーク

受講者数：16名

【日本語3B－S（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：アニメドラマを鑑賞しながら、日常生活の話し言葉に慣れるとともに、様々なテーマについての知識を深める。また、ドラマを通して生きた語彙に触れると同時に、語彙問題集によって、体系的に語彙力を身に付ける。

使用テキスト：授業時にプリントを配布する。

受講者数：16名

【日本語3C－S（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：論理的な文章の書き方を学びながら、各課題に沿った口頭発表や討論を行う。

使用テキスト：『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』アカデミックジャパニーズ研究会編著（アルク）

受講者数：18名

【日本語4A－S（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：日本語の文章を読み、内容について話し合う。文法の練習をする。様々な語彙を使った練習をする。

使用テキスト：『新 中級から上級への日本語』The Japan Times

受講者数：23名

【日本語4B－S（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：学習生活・日常生活での会話、講義等の様々な教材を聞く。文脈の中での使われ方を通して語彙を学んでいく。

使用テキスト：授業時に適宜紹介する。

受講者数：32名

【日本語4C－S（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：会話・作文ともに様々な状況を想定し、言葉の使い分けを学ぶ。事実や状況を正確に伝えたり、自分の意見を論理的に伝えたりする練習を行う。

使用テキスト：授業時に適宜紹介する。

受講者数：26名

【日本語5A－S（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：ニュースまたはドキュメンタリーのキーワードの説明、ドキュメンタリーの視聴、内容についての議論・話し合い、視聴した内容について、自分の意見をまとめ提出する。

使用テキスト：必要に応じて、プリントを配布する。

受講者数：20名

【日本語5B－S（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：日本の様々な作家の小説や物語を読み、内容を理解する。また、使用されている言葉の用法を学ぶ。

使用テキスト：プリントを配布する。

受講者数：21名

	月	火	水	木	金
1・2 8:40-10:10			日本語2A-S 日本語基礎	日本語2A-S 日本語基礎	日本語2A-S 日本語基礎
3・4 10:20-11:50	日本語1A-S 日本語初歩	日本語1A-S 日本語初歩	日本語1A-S 日本語初歩	日本語4B-S 聴解・語彙	日本語1A-S 日本語初歩
	日本語3B-S 聴解・語彙	日本語4C-S 作文・話し方			日本語4A-S 読解・文法
5・6 12:45-14:15		日本語5B-S 日本語総合		日本語3C-S 作文・話し方	日本語3A-S 読解・文法
7・8 14:25-15:55	日本語5A-S 日本語総合				

3. 浜松キャンパス

袴田 麻里

浜松キャンパスには、大学院生を中心に日本語学習経験のない留学生が多いが、静岡キャンパスとは異なり、初級集中コースがないことから、国際交流センター経費で日本語2の補習を一学期に7回実施し、初級レベルでの学習時間数を確保した。

平成27年に総合科学技術研究科（修士課程）において英語コースが開設されたことにもない、修士課程に正規生として在籍する留学生の日本語受講が多くなった。

平成28年度後期

開講期間は平成28年10月7日から平成29年2月10日までである。

【日本語1A－F（日本語入門）】

授業時間数：週4コマ

授業の目的：「話す」「聞く」技能養成を目指す。仮名の読みは習得する。また、生活漢字を導入したり、生活会話の時間を設けることによって、日本での生活が円滑にできるようにする。

使用テキスト：『にほんご45じかん』

受講者数：33名

【日本語2A－F（日本語初級）】

授業時間数：週3コマ＋補習授業7回

授業の目的：初級後半の学習項目を文法を中心に学ぶ。特に「話す」「聞く」技能を向上させるため、聴解教材や会話練習を多く取り入れた授業を行う。

使用テキスト：『にほんごつぎの45じかん』

受講者数：10名（うち外国人教員2、配偶者2）

【日本語3A－F（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：初級項目を強化し、中級項目を定着させる。

使用テキスト：『初級で読めるトピック25』 I・II（スリーエーネットワーク）

受講者数：18名

【日本語3B－F（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：身近な場面に関する日本語聴解、漢字・カタカナ語彙を習得する。

使用テキスト：『みんな日本語 初級II』（スリーエーネットワーク）

『5分でできるにほんご音の聞き分けトレーニング』（スリーエーネットワーク）

『語彙マップで覚える漢字と語彙』(Jリサーチ出版)

受講者数：18名

【日本語3C-F(作文・話し方)】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：初級、中級の文型や語彙を使って書けるようになる。

使用テキスト：自主制作教材、N3教材

受講者数：12名

	月	火	水	木	金
1・2 (8:40-10:10)	日本語1A-F	日本語1A-F		日本語1A-F	日本語1A-F
3・4 (10:20-11:50)	日本語2A-F		日本語2A-F	日本語2A-F	日本語2補講
5・6 (12:45-14:15)		日本語3B-F	日本語3C-F	日本語3A-F	

平成29年度前期

開講期間は平成29年4月10日から平成29年7月28日までである。平成27年度から28年度まで、修士課程に正規生として在籍する留学生が日本語科目の履修を希望しても、専門科目の履修と重なってしまう場合が多かったため、研究科と時間割を調整し、開講時間の重複を極力避けて時間割を作成した。

【日本語1A-S(日本語初歩)】

授業時間数：週4コマ

授業の目的：「話す」「聞く」技能養成を目指す。仮名の読みは習得する。また、生活漢字を導入したり、生活会話の時間を設けることによって、日本での生活が円滑にできるようにする。

使用テキスト：『にほんご45じかん』

受講者数：9名(うち研究者1名、配偶者1名)

【日本語2A-S(日本語基礎)】

授業時間数：週3コマ+補習7回

授業の目的：初級後半の学習項目を文法を中心に学ぶ。特に「話す」「聞く」技能を向上させるため、聴解教材や会話練習を多く取り入れた授業を行う。

使用テキスト：『にほんごつぎの45じかん』

受講者数：15名(うち研究者1名、配偶者1名)

【日本語3A－S（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：長めの文章を読み、中級文型・表現を学ぶ。

使用テキスト：『中級にいこう』（スリーエーネットワーク）、日本語能力試験問題集

受講者数：7名

【日本語3B－S（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：身近な場面に関する日本語聴解、漢字・カタカナ語彙を習得する。

使用テキスト：『毎日の聞き取り 中級』、日本語能力試験問題集

受講者数：7名

【日本語3C－S（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：奨学金応募に必要な日本語、企業の人事担当者に自己紹介する日本語を学ぶ。

使用テキスト：自作プリント

受講者数：7名

	月	火	水	木	金
1・2 (8:40－10:10)	日本語2A-S	日本語2A-S		日本語2A-S	日本語2補講
3・4 (10:20－11:50)	日本語1A-S	日本語1A-S		日本語1A-S	日本語1A-S
5・6 (12:45－14:15)		日本語3A-S		日本語3C-S	
7・8 (14:25－15:55)			日本語3B-F		